

質問日	令和4年12月2日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	9	会派名	自由民主党浜松	議席番号	40	氏名	波多野 亘
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 広域スポーツ施設の改修について	<p>本市では、江之島ビーチコート整備をはじめ、静岡県が整備する遠州灘海浜公園篠原地区の野球場整備計画策定などスポーツ施設整備の機運が高まっている。特に、期待が高まる野球場建設では、その実現に向け期成同盟会も設立された。しかし、篠原地区野球場完成には最短でも8年から10年程度かかると見込まれる。</p> <p>そこで、公共施設等総合管理計画搭載の広域スポーツ施設の改修について、以下3点伺う。</p> <p>(1) 新野球場ができるまでの四ツ池公園浜松球場の在り方と改修について考えを伺う。</p> <p>(2) 新陸上競技場ができるまでの四ツ池公園陸上競技場の在り方と改修について考えを伺う。</p> <p>(3) 老朽化する浜松アリーナ改修について考えを伺う。</p>					嶋野文化振興 担当部長	
2 有利な起債について	<p>予算編成方針では、少子高齢化や社会保障施策関連経費の増大などで財政の硬直化が見られる中、国庫補助負担金等も含め歳入確保の徹底と限られた中でメリハリの効いた予算案を作成するとしている。</p> <p>そこで、財政負担軽減につながる有利な起債について、以下2点伺う。</p> <p>(1) 緊急防災・減災、緊急自然災害防止対策、緊急浚渫推進の各事業債は有利な起債であると思うが、その認識と市の考えを伺う。</p> <p>(2) 3つの事業債合計は、昨年度決算額と本年度予算額を比較すると減少している。その理由と利用促進の考え、関係所管課への周知について伺う。</p>					石切山財務部 長	
3 喫煙の環境とたばこ税について	<p>本年度も、総務省自治税務局から各財政担当に出された「地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項」の中で、地方のたばこ税に係る対応が記されている。また、本年夏、内閣府によるたばこ対策に関する世論調査が行われた。その結果では、煙を不快と思う人が増加している。</p> <p>そこで、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 昨年の議会質問において「中心市街地における喫煙環境について継続的に検討」と答弁されているが、その後の検討内容と結果を伺う。</p> <p>(2) たばこ対策に関する世論調査結果の煙を不快と思う人を減らすため、また、留意事項から、閉鎖型喫煙施設の設置が解決策と思うが、民間施設設置補助を含め</p>					藤野産業部長 藤田環境部長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>考えを伺う。</p> <p>(3) たばこ税収推移と留意事項から、たばこ税の認識を伺う。</p>	石切山財務部長
4 空き家と所有者不明土地問題について	<p>少子高齢化・人口減少が進む中、相続件数の増加や所有意識の希薄化により、空き家や所有者不明土地が増加し環境や災害時の問題となっている。空き家問題については平成27年施行の特別措置法により、所有者不明土地については改正円滑化特別措置法の11月施行や改正民法の来年度一部施行により対策が推進される。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 空き家（所有者不明含む）の現状、相談・対応状況、課題を伺う。</p> <p>(2) 所有者不明土地の相談、対応状況、課題を伺う。</p> <p>(3) 空き家と所有者不明土地は深く関連がある。まずは庁内連携を深めながら組織体制を強化し、効率性を高めていくべきと考えるが伺う。</p>	<p>奥家市民部長</p> <p>井熊都市整備部長</p> <p>長田副市長</p>
5 地域の力復活について	<p>本市は、政令指定都市に移行して区を行政単位とした市政運営を行ってきた。15年が経過するが、目指したはずの住民自治の推進や強化、都市内分権が進んだとは感じられない。また、新型コロナの蔓延が、地域のつながりの希薄化に拍車をかけ地域の力を低下させた。</p> <p>そこで、地域の力復活のため、以下4点伺う。</p> <p>(1) 住民自治・地域自治の推進の概念について本市の考えを伺う。</p> <p>(2) 本市の住民自治などをどのように評価、分析しているか。また、どのように推進していくのか伺う。</p> <p>(3) 東区は、俳句を生かしたまちづくりなど独自事業をスタートさせた。地域自治を機能させた区政の成功事例と感じる。その秘訣を伺う。</p> <p>(4) 地域の力を復活させるための制度創設について、2点伺う。</p> <p>ア 御近所イベントなどに地域力向上事業の使い勝手をよくしたミニ的な補助ができないか伺う。</p> <p>イ 地域自治実行のために、コミュニティ担当職員の配置の代わりに増員分人件費の一部を活動費等として、地域が選択できる制度の創設の考えを伺う。</p>	<p>奥家市民部長</p> <p>〃</p> <p>藤田東区長</p> <p>奥家市民部長</p>
6 オートバイ文化の発信について	<p>本市は、日本を代表するオートバイメーカー3社が産声を上げたオートバイ発祥のまちである。そして、輸送機器や楽器、繊維産業の発達とともに、ものづくりのまちとして発展してきた。現在は、生産拠点の空</p>	藤野産業部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>洞化や今後の輸送機器のEV化対応など産業課題はあるが、オートバイ発祥の地としての誇りと、ウィズ・アフターコロナを見据えたオートバイ文化の発信について、以下4点伺う。</p> <p>(1) 20年続けているバイクのふるさと浜松推進事業の総括を伺う。</p> <p>(2) 今年は、「オートレース場」でシーズンは「秋」の初開催としたが、評価を伺う。</p> <p>(3) 来年度、静岡県で開催されるバイクラブフォーラムとバイクのふるさと浜松との連携や、今後のバイクのふるさと浜松開催時期と会場について伺う。</p> <p>(4) 今後どのようにオートバイ文化を発信していくのか、ブランディング化を含めて伺う。</p>	